

『蓮、至りて雌。』の漫画の口コミに関するアンケート調査

■アンケートの詳細

調査目的	『蓮、至りて雌。』の漫画の口コミに関するアンケート調査
調査対象	『蓮、至りて雌。』を読んだことのある20代～50代の男女12名
調査期間	2026年7月14日～2026年7月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hasuitaritemesu/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『蓮、至りて雌。』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 『蓮、至りて雌。』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	1人
20代女性	0人
30代男性	1人
30代女性	3人
40代男性	3人
40代女性	3人
50代男性	0人
50代女性	1人

Q2: 『蓮、至りて雌。』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった): 絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった): 漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。

★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。
★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。
★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	4人
★★★★	7人
★★★	1人
★★	0人
★	0人

Q3:『蓮、至りて雌。』を実際に読んだ感想を教えてください。

「すごいテンション」最初から最後まで謎テンションで突っ切る作品です。初見だと訳がわからないというのが大半の感想だと思いますが、妙蓮様の身体と存在感で不思議と惹かれてしまいます。背徳感を抱きつつも、結局は欲に溺れているのが魅力的。そして、主人公も当然罪深いと分かっていつつも肉欲に抗えない...。姐様のことが好きでたまらないのは伝わってきます。

「純粋に面白い」すごく真面目なお話ではあるのですが、真面目に性に対して取り組んでいるところがなかなか面白いです。尼僧と小間使いという設定もありそうでそこまで無いので、他では読めない作品だなと思いました。設定的に少し難しい単語が出てくるところも、オトナ漫画として考えるとより一層面白さが増して個人的には気に入っています。

「作画が意外と微妙」上手いんだか下手なんだか分からない画力。一見卓越した絵のように見えますが、アングルが変わると途端に頭身が崩れます。大層が正座をしているところなんか、最初ぬりひょんみたいな頭のかいキャラに見えてしまいました。体を強調するのは分かりますが、カット割りも慣れていないような不自然さを感じます。

「むっちりむち」とにかくむっちり！お肉の質感がすごくりアルだし、重厚感があるのでぽっちゃり体型が好きなお方にはたまらないと思います。ぶよぶよではなく、しっかり筋肉が見えているむちむち体型。ちゃんと重力を感じる絵になっています！そしてまたヒロインの尼僧が、この体型が似合うこと。ひっそり暮らしている尼僧の体がこんなにむちむちって、なんだか妙に背徳感がありますね。

「業が深い」最初から勢いが凄まじいんですが、終盤の狂った感じが秀逸。「本当に愛らしい男の子だったのに...」の後のパートです。猛り狂ったブツを押し付けてただ妙蓮と果てるだけなのですが、最初とはもう別人のようにひたすら絡み、思いを遂げます。それを全部受け入れる妙蓮も妙蓮ですが...。業が深すぎるふたり、地獄堕ちしてしまうでしょうね。

「男子禁制の場所で」舞台が男子禁制の尼寺というのが非常に良かったです。もう、この場所だけでドキドキしてしまう人も多いのではないのでしょうか。そして、実際に体を重ねることになる二人も決してただの欲望ではなく、それ自体が荒療治というのも良いです。自分を姉のように慕ってくれる男のために体を張る尼僧。このイメージ通り、非常に真面目な尼僧なんですよ。真面目だからこそ、妙にドキドキしてしまいます。

「下着が」個性あふれる和風作画で好みでしたが、唯一残念に感じてしまったのが下着です。下はまだ分かるんですが、上はないですよ。和モノなら着用していないでしょう。こんな和洋折衷は求めていないし、挙句、避妊具も出てくるのが何とも...。もう少し和風テイストに統一してくれたら満点の作品でした。

「すごい迫力」実際に購入して読んでみると、想像以上の迫力に驚きました...！オトナ系の漫画は、大体無料で読めるお試し部分と本編の雰囲気さがそこまで変わらないのですが、こちらの作品は本編の方がかなり強く、買って良かったと思える作品の一つ。執拗な責めだったり、尼僧の心の声だったり。もう何もかもが非常に濃厚でした。特におすすめしたいのが、トップ部分の噛み跡。煩惱を捨てなければならない人間の煩惱が詰

まったようなシーンで、最高です...！

「こりゃ大変だ」煩惱に負けてしまいそうになった主人公はなんと僧侶。そして彼が訪ねて行った先は尼寺。こちらのジャンルでこの職業って初めて見た気がします。なにしろ真逆の立場にいる方たちですからね。どれだけ修行している方たちでも勝つのが難しい煩惱。抑え込もうとする姿は大変そうですが、そりゃ流されてしまいますよね。凡人が流されて当然か。

「地獄に行きたい」本来であれば一生独り身を貫いていたはずの僧侶。こんなに立派な体を持っているというのに宝の持ち腐れですね。だからこそ、使われることになってよかった。地獄行きという凶悪な体。でも本当に気持ちよさそうで、地獄に行ったっていいから味わってみたいと思ってしまいました。イラストがなんとも独特で味があります。

「まさに荒療治」煩惱と縁遠いところがいなければならないのに、まさかの常に発射準備オッケーの状態に。本人はつらくて必死でしょうが、うらやましく思う男性陣は多いことでしょう。それにしても、それならむしろ女人大勢いるところに行けばいいのではと考えて尼寺に助けを求めに行くところが、世間知らずで自分を知らない僧侶らしいです。

「これは治療ですから」尼さんのくせにスタイルが良すぎるお姉さんと、僧侶でありながら大きく立派なあれが収まらなくなっているお兄さん。職業選びを間違っているのでは。そして苦しむ姿を見捨ててはならないと仏の心で治療を行うこととなった二人ですが、見ている側としてはツツコミどころ満載です。まあでも迫力満点のボディが絡み合う姿が見られれば読者としては役得。

漫画全巻の部屋

by (株)グリックス